

つ な み い の ち ま も
津波から命を守る

自己学習用プリント・小学校編

学習のポイント



- Q.1 平成23年3月に起きた東日本大震災はどのような災害だったのでしょうか？
- Q.2 津波からまちを守る施設にはどのようなものがあるのでしょうか？
- Q.3 これらの施設は、東日本大震災の津波から、まちをどのように守ったのでしょうか？
- Q.4 施設を安全に操作したりするために、どのような工夫がされているのでしょうか？
- Q.5 津波から命を守るためには、どうすればよいのでしょうか？

東日本大震災の様子

A.1 巨大な地震と津波によって、各地で大きな被害が発生しました。

東日本大震災は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震と、地震によって起きた津波などによる災害のことをいいます。地震の大きさを示すマグニチュードは9.0と、記録に残る日本で最も大きなもので、岩手県内の最大震度は6弱でした。県内の死者・行方不明者は6,000名を超え、その多くは津波が原因でした。



久慈市



洋野町



野田村



普代村

つなみ まも しせつ 津波からまちを守る施設

A.2 つなみ しせつ ぼうちようてい すいもん りっ ぼうはてい 津波からまちを守る施設には、防潮堤、水門、陸こう、防波堤などがあります。

ぼうちようてい つなみ りくち まち
防潮堤 津波から陸地を守るためにつくられた堤防で、コンクリートでできています。



すいもん もん し
水門 門を閉めることにより、津波が川に沿ってまちに入ってくるのを防ぎます。



ぼうはてい おも なみ みなと まも ていぼう
防波堤 主に波から港を守るための堤防で、津波からもまちを守ります。



りっ ぼうちようてい くるま ひと とお どうろ
陸こう 防潮堤のうち、車や人が通れるよう道路にした部分で、津波が来るときは扉を閉めます。

津波からまちを守る施設の効果と限界

A.3 東日本大震災では、防潮堤や水門などにより津波の被害が小さくなった例があります。

おおた な べ ぼうちようてい しょうわ ねんけんせつ
太田名部防潮堤（昭和42年建設）



しせつ ぼうちようてい たか > つなみ たか
施設（防潮堤）の高さ > 津波の高さ
津波より高い防潮堤がまちに津波は入
のを防いたので、まちに津波の被害はありま
せんでした。⇒効果

ふだいすいもん しょうわ ねんけんせつ
普代水門（昭和59年建設）



しせつ すいもん たか < つなみ たか
施設（水門）の高さ < 津波の高さ
水門より高い津波は水門の上を越えました。⇒限界
このとき水門が津波の力を弱めたので、水門より
りくがわ つなみ ひがし
陸側のまちに津波の被害はありませんでした。⇒効果

水門や陸こうを安全に操作する

A.4 岩手県では水門・陸こうの操作をより安全にできるような取り組みを進めています。

ひがしにほんだいしんさい うち かわ ちか すいもん りっ そうさ あんぜん
東日本大震災では、海や川の近くで水門・陸こうを操作して亡くなったり、危険な目にあたり
した消防団員の人たちがいました。そのため、岩手県では、水門・陸こうを海や川から離れた安全な場所
で操作したり、自動で行ったりできるようにしています。

うみ かわ ちか
海や川の近く
(監視カメラ、水門・陸こうなど)



うみ かわ はな ばしよ
海や川から離れた場所
監視する所（消防署など）



じどうか
自動化

じどう すいもん
自動で水門などが
閉じる命令を出す

えんかくそうさか
遠隔操作化

ボタンを押すと水門
などが閉じる

うみ かわ ちか い すいもん と
海や川の近くに行かなくても水門などを閉じることができる⇒安全

津波からの安全な避難

A.5 地震が起きたら、すぐに高い場所へ避難しましょう。

地震が起きたら津波が来ることを予想して、すぐに津波の届かない高い所へ避難することが大切です。

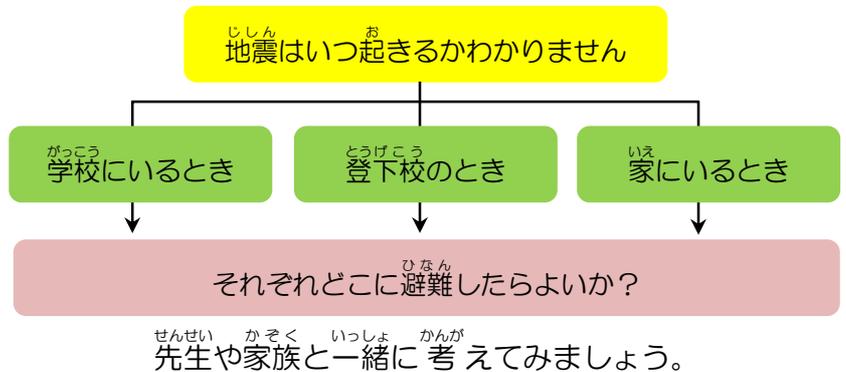


普段から津波の避難路や避難場所を確認しておきましょう。



東日本大震災のとき、釜石市鶴住居地区の小中学生は、地震の後、津波が来ることを予想し、すぐに避難を始めました。避難場所に着いた後も、より高い場所、より高い場所へと避難を続け、津波から身を守ることができました。

一人ひとりが自分の命を守るために、てんでんばらばらにでも避難するように、日頃から備えておくことが大切です。そのことが、周りの人の命を救うことにも繋がります。
(津波の防災意識を高める標語で「津波てんでんこ」といいます。)



防潮堤などは津波からまちを守ってくれますが、津波が防潮堤を越えてくることもあります。地震が起きたら津波が来ることを予想し、できる限り早く、高い場所へ避難することが大切です。

メモ 気づいたことや感想を記入しましょう。



黄金の國、
いわて。

お問い合わせ：岩手県 県北広域振興局土木部河川港湾課
〒028-8042 岩手県久慈市八日町 1-1(久慈地区合同庁舎)
電話 0194-53-4990